

平成 20 年 2 月 28 日

各 位

「地域密着型金融推進計画」への取組みについて

株式会社東和銀行(頭取 吉永 國光)は、地域密着型金融の一層の推進を図るため、平成 22 年 3 月までの具体的な推進策と目標を決定いたしましたのでお知らせします。

当行は、これまで「リレーションシップバンキングの機能強化計画」(平成 15 年度～16 年度)、「地域密着型金融推進計画」(平成 17 年度～18 年度)の 2 つの計画に基づき、4 年間にわたって地域密着型金融の推進に取り組んでまいりました。今般、その取組みの成果を踏まえ、地域金融機関の社会的使命として、さらに地域密着型金融を高度化させるため、現在推進中の「プランフェニックス」の計画期間に合わせ、地域密着型金融推進のための具体策を定めるとともに、数値目標を設定いたしました。

取組項目は下記の通りであり、この計画の推進により更なる地域密着型金融の強化に取り組んでまいります。

1. 「地域密着型金融推進計画」

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

創業・新事業支援、経営改善支援、事業再生などに取組みます。

2. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の徹底、中小企業に適した資金供給手法の徹底に取り組めます。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域の面的再生、地域の活性化につながる多様なサービスの提供などに取組みます。

2. 「地域密着型金融推進計画」の概要について

別紙のとおりです。

以 上

地域密着型金融推進計画

(平成19年度下期～平成21年度)

株式会社 東和銀行

当行は、「中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針」で求められている3つの具体的取組み「1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化」「2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底」「3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献」を実現していくため、地域から頼られる銀行を目指して「プランフェニックス」を推進中です。「プランフェニックス」では、5つの重要課題を掲げ、これらを達成することで「お客様の問題解決のお役に立つ金融機関としてのビジネスモデルの構築」を目指してまいります。

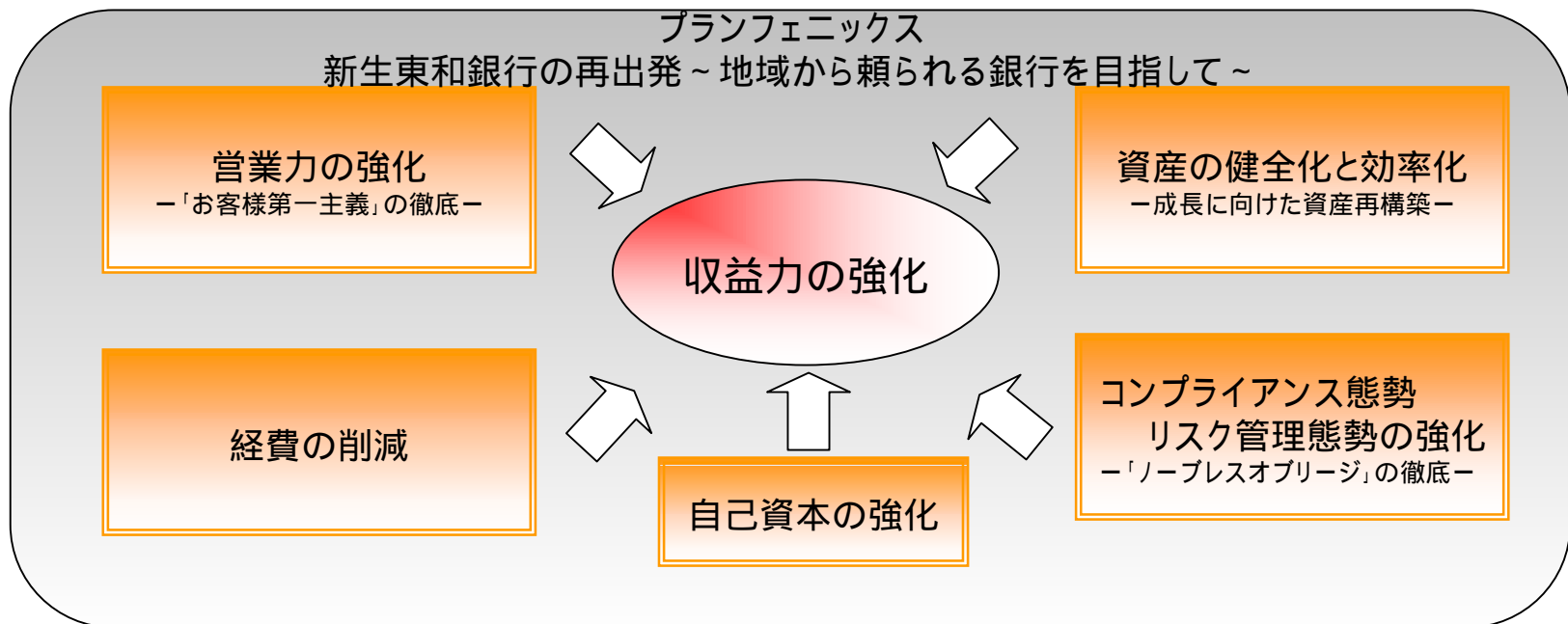
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

プランフェニックス

新生東和銀行の再出発～地域から頼られる銀行を目指して～



当行は、経営理念として「役に立つ銀行」「信頼される銀行」「発展する銀行」を掲げ、「お客様、株主様、役職員」が三位一体となった経営体制を確立し、「新生東和」として地域に密着しお客様のお役に立てることで収益の回復を図るべく努力しております。

そして、この「新生東和」として生まれ変わる改革のスピードを加速させ、当行の経営体質の抜本的な改善により、将来に向けた確かなステップアップを実現するため、収益集中改善再生プラン「プランフェニックス～地域から頼られる銀行を目指して～」を策定いたしました。

当行にとっては、「プランフェニックス」を推進することが地域密着型金融を推進することになりますが、今回、「プランフェニックス」に盛り込んだ主要施策を地域密着型金融の視点から整理するとともに、新たな施策を追加したうえで具体的な数値目標を設定して推進することにより、地域密着型金融の着実な実現を図ることといたしました。

< 基本方針 >

「地域から頼られる銀行を目指して」

< 取組み期間 >

平成19年度下期～平成21年度

当行では、「新生東和」として生まれ変わる改革のスピードを加速させ、将来に向けた確かなステップアップを実現するため「プランフェニックス」(平成19年度下期～平成21年度)に取り組んでおり、この計画期間の終了時期に合わせた取組みとします。

< 重点取組み事項 >

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

(1) 創業・新事業支援機能等の強化

- ・群馬大学との連携強化
- ・創業・新事業支援向け融資制度の活用
- ・ベンチャー企業向け業務の推進
（「ぐんまチャレンジファンド」の活用等）

(2) 経営改善支援機能等の強化

- ・経営改善計画の作成支援
- ・中小企業再生支援協議会の活用
- ・法務、財務、税務の専門家、専門コンサルタント等の取引先への紹介
- ・企業支援室担当者による経営改善指導、行内研修の実施

(3) 事業再生に向けた取組みの強化

- ・東和フェニックス株式会社を活用した企業再生支援
- ・ハンズオン型事業再生手法を活用した再生計画の策定
- ・中小企業再生支援協議会の積極的な活用
- ・整理回収機構の企業再生支援スキームの活用
- ・DES、DDS、DIPファイナンス、コベナンツ等の活用

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

- (1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進
 - ・無担保、第三者保証人不要の事業性ローンの活用
 - ・中小企業診断士育成のため、資格試験対策スクールへの派遣
 - ・行内・外部研修による「目利き」能力の向上

- (2) 中小企業に適した資金供給手法の活用
 - ・コベナンツを活用したシンジケートローン等の組成、推進
 - ・私募債引受け業務の推進
 - ・動産、債権担保融資の取組み

- (3) 業務提携推進室の新設
 - ・先進行との業務提携の具体化に向けた取組み
 - ・付加価値の高い幅広い金融商品・サービスの開発

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域の面的再生への取組み

- ・地方公共団体や商工団体との連携強化
- ・ビジネスマッチング機能の強化
(東和ビジネス交流会の開催等)
- ・コンサルティング業務の強化
(地域経済研究所による税務相談、法律相談等)

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

- ・経済レポート、税務トピックスの発刊
- ・企業経営動向調査の実施
- ・年金相談会の開催
- ・講演会、各種セミナー、ビジネスレポートサービス等の情報提供やビジネス支援
- ・利用者満足度アンケート調査の実施

項目	指標	中間目標 (平成21年3月)	最終目標 (平成22年3月)
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	(1) 創業・新事業支援融資実績 (2) ランクアップ率 $\frac{\text{ランクアップ先数}}{\text{経営改善支援取組み先数}}$ (3) 再生計画策定率 $\frac{\text{再生計画策定先数}}{\text{経営改善支援取組み先数}}$	80 件 5% 15%	160 件 10% 25%
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の活用	(1) 私募債引受け件数 (2) BIZ-クイック実行金額 (3) ABL(動産・債権担保)スキームによる融資実行件数	5 件 50 億円 5 件	10 件 100 億円 10 件
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	(1) 経営者セミナー他各種セミナーの開催回数 (2) ビジネスマッチング成約件数 (3) 年金相談会開催件数	20 回 40 件 350 回	40 回 80 件 700 回

東和銀行～地域から頼られる銀行～

役に立つ銀行

お客様のニーズを的確に捉え、金融機関のもつ全機能を十分発揮し、金融サービスやお客様の役に立つ情報を提供するとともに、地域の経済発展と文化の向上に貢献し、役に立つ銀行となるよう努力しています。

信頼される銀行

正しい事務処理と、人と人との「和」を基本にした、誠実・親切・迅速な対応により、地域の皆さまとの密着に努めるとともに経営内容の一層の充実を図り、真に信頼される銀行を目指しています。

発展する銀行

複雑・多様化する金融環境と金融自由化・国際化の進展には前向きに対応し、いかなる環境変化にも耐え得る企業体質を構築することが必要です。即ち、積極健全経営を強力に展開し、常に地域社会やお客さまとともに発展する銀行になるよう励んでいます。

プランフェニックスで目指す経営指標

	07年9月実績	08年3月	09年3月	10年3月
コア業務純益	31億円	72億円	77億円	82億円
経常利益	25億円	12億円	19億円	21億円
当期利益	31億円	11億円	28億円	30億円